

市内でキノコバエが 大量発生

今年7月、金山町地域でキノコバエが大量に発生し、市民生活にも影響を与えました。

キノコバエの大量発生は、全国規模で問題になっているものの、発生を抑える根本的な解決策が無い状況です。しかし、キノコバエの大量発生は今後も続くものと予想されますので、差し当たり、その生態やご自宅でもできる対処法などを紹介します。

市内の発生状況

平成26年ごろ、金山町菅田地域でコバエ(黒い小さな虫)が大量に発生する日がありました。

それから年々、発生範囲を拡大し、今では、ほぼ金山町



▲家の中に侵入した大量のキノコバエが床の上で死んでいる様子(黒い点のような物が全てキノコバエです)

全域で発生が確認されるまでになり、発生する日も多くなっています。
キノコバエが大量に発生すると、家や職場など建物の中へ侵入してくるようになります。また、金山町の学校給食センターでは調理することが不可能な状態となり、やむを得なく配給を停止することになりました。

近隣市町村および 全国的な発生状況

金山町菅田地区と隣接する七宗町では、菅田地区で発生する1〜2年前から発生して

いて、今年の発生状況は去年、一昨年と比べると少なかったようです。

岐阜県では東濃、中濃、岐阜地区の市町などで、愛知県では瀬戸市、豊田市、豊橋市などで、また、全国的には、静岡県、京都府、広島県などでも発生しているようです。

ご自宅でもできる対処法

・大量発生する時間帯は、窓やドアを閉め切る。

- ・窓やドアのサッシに殺虫剤を噴霧する。
- ・サッシの隙間をガムテープなどで目張りする。
- ・網戸や窓・ドアなどに、スプレータイプの忌避剤(虫が嫌がる匂いを出す薬剤)を含ませてある虫除けを噴霧する。
- ・換気扇の使用を自粛する。
- ・屋外に扇風機を設置し、侵入経路となる窓やドアに成虫が近寄らないよう横から送風する。

市民の皆さまへ

ご協力をお願い

最近の傾向から、秋にもキノコバエの発生が予想され、また、今後も発生地域の拡大が予想されます。ご家庭で実践している有効な除去方法や侵入対策などがありましたら、ぜひお聞かせください。

【問合先】

環境課 26・5011

保健所下呂センター

252・3111内線354

市内で得られた情報

・大量発生すると生臭いにおいがある。

・網戸やサッシなどをくぐって室内に侵入してくる。(締めきつていても入ってくる)

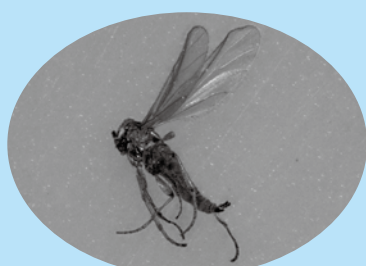
・白などの明るい色のものに引き寄せられている。

・特に午前中の気温が上昇する時間に発生してくる。早い時は、6時ごろから発生。昼に気温が高くなると死んで落ちる。気候によっては夕方にも発生する時がある。

クロバネキノコバエ類の特徴

発生しているコバエは、「クロバネキノコバエ」の一種とみられます。

- ・成虫は体長1〜2ミリ、黒色〜黒褐色をしています。
- ・一代(卵から成虫)は15〜20日前後で、成虫の寿命は4〜10日。
- ・温度の上昇に伴い発育が著しく促進。
- ・最も発生しやすいのは梅雨の時期。(秋でも気温湿度の条件により発生)



▲クロバネキノコバエの成虫

下水道の早期接続をお願いします



下水道への接続のお願い

下水道は、下呂市の美しい水環境の保全やまちづくりに欠かせない施設です。下水道の整備は、世代間で負担し支え合いながら長期間にわたって実施することで、水環境の保全とまちづくりを一緒に担う、とても大切な事業です。下水道の整備された区域にお住まいの全ての方に下水道へ接続していただくことにより、その効果がより発揮されます。それぞれで事情はあると思いますが、下水道の趣旨をご理解いただき、早期に接続をしていただきますようお願いいたします。

下水道が果たす役割

家庭から出た生活排水を微生物の働きにより、元のきれいな水にして戻すことが下水道の役割です。そのためには、より多くの家庭の生活排水を下水道へ接続することが大切です。

水洗トイレで快適生活

下水道が使用できるようになった区域は、3年以内に「汲み取り式トイレ」を「水洗トイレ」に換えなければならま

せん。また、トイレの排水のみ処理が可能な“単独浄化槽”は、お風呂や台所の生活排水がそのまま河川へ流れてしまい、水質悪化の原因となります。単独浄化槽をお使いのご家庭も下水道への接続をお願いします。

接続工事は工事指定店で

下水道へ接続するための排水設備工事は、「下呂市排水設備工事指定店」へ依頼をしてください。工事指定店では技術・知識・実績を持った排水設備工事責任技術者がいますので、安心して工事を任せられます。

下水道未整備区域では 合併処理浄化槽の補助金を交付

下水道の整備がされていない区域で、住宅や事業所の建物に合併処理浄化槽を設置する場合に、補助金を交付します。補助金の額は、浄化槽の種類と大きさ（人槽）や用途（住宅・事業所）によって異なります。

【水道料金課】

人権擁護委員の委嘱

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間の方で、地域の皆さんから人権相談や法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をするほか、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。現在、市内では12人の人権擁護委員が活躍されています。7月22日、いで湯の里ふれあいセンターで委嘱式が行われ、村山副市長から再任となる5名の方へ

委嘱状が交付されました。任期は、7月1日から3年間。地域の皆さんのために活躍していただきます。

【地域振興課】

～再任～

中島 孝さん（森）
今井 繁子さん（萩原町尾崎）
下村 和子さん（金山町金山）
矢島錠之助さん（金山町菅田笹岡）
山下 浩正さん（小坂町長瀬）



▲村山副市長より人権擁護委員の委嘱を受ける委員
＝森、いで湯の里ふれあいセンター

～ピンクリボン運動に賛同～

乳がん検査が無料で受診できます！



県立下呂温泉病院では、10月の乳がん啓発強化月間に、平日多忙で受診が難しい女性のため「NPO法人日本乳がんピンクリボン運動」が取り組む「毎年10月第3日曜日にマンモグラフィー検査が受診できる環境づくり」に賛同し、無料で実施します。

- ◆日時 10月16日（日）8時30分～16時
- ◆対象者 女性（平成24年度以降にピンクリボン運動で受診された方は除きます。また、豊胸手術、ペースメーカー使用、妊娠中、授乳中、乳がん手術をした方および治療中の方は受診できません）

- ◆検査内容 マンモグラフィー検査（視触診なし）
- ◆募集人数 30人（先着順）
- ◆受診料 無料
- ◆検査場所 総合健診センター
- ◆応募方法 電話による予約（平日13時～17時）
- ◆募集期間 9月1日（木）～9月9日（金）

【問合先】県立下呂温泉病院総合健診センター ☎23-2233（直通）